



2024年4月23日

報道関係各位

応用地質株式会社

広く 安く 簡単に 地盤を監視する予防保全技術  
表層傾斜計「クリノポール NEO」の販売を開始

応用地質株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:天野 洋文、以下「当社」)は、多発する豪雨による土砂災害の予防保全等を目的とした、地盤表層の傾きを計測する表層傾斜計「クリノポール NEO」の販売を開始しましたのでお知らせします。

【開発の経緯】

クリノポール NEO は、「傾斜センサーを多点に配置し、面的に広く斜面の挙動を把握することで、斜面の不安定な箇所を事前に把握したい」という事前防災のニーズを満たすため、斜面災害に関する知見を集積し、西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社(広島市西区、代表取締役社長:北村弘和)とともに、共同開発いたしました。

【機器の概要】

当社従来製品の「クリノポール」は、センサー部を地中に埋設し、温度変化の影響を低減させることで、精密なデータの取得が可能です。「クリノポール NEO」はこの特長を生かし、最大 20 点の計測ポイントの測定データを近距離無線で 1 台の通信機能付きコントローラーに集約することで、精緻な計測でありながら広く、面的に、かつ安価で簡単に斜面の挙動を把握することが可能となりました。

さらに、観測したデータは、コントローラーから当社クラウドへ自動でアップロードされますので、いつでも迅速に斜面の状態を確認することができ、斜面点検の労力軽減のほか、斜面などを管理されるみなさまの DX 推進を支援いたします。

【機器の構成】

① センサー部

ロッドの先端に内蔵されたセンサーにより 2 軸の傾斜と温度を計測します。

サイズ:  $\phi$  26mm  $\times$  L850mm

② 通信部

センサー部から得られた情報を無線通信でコントローラーに送信します。

サイズ:  $\phi$  80mm  $\times$  L206mm

③ コントローラー

通信部から得られたセンサー部からの情報を LTE 通信でクラウドにデータ送信します。

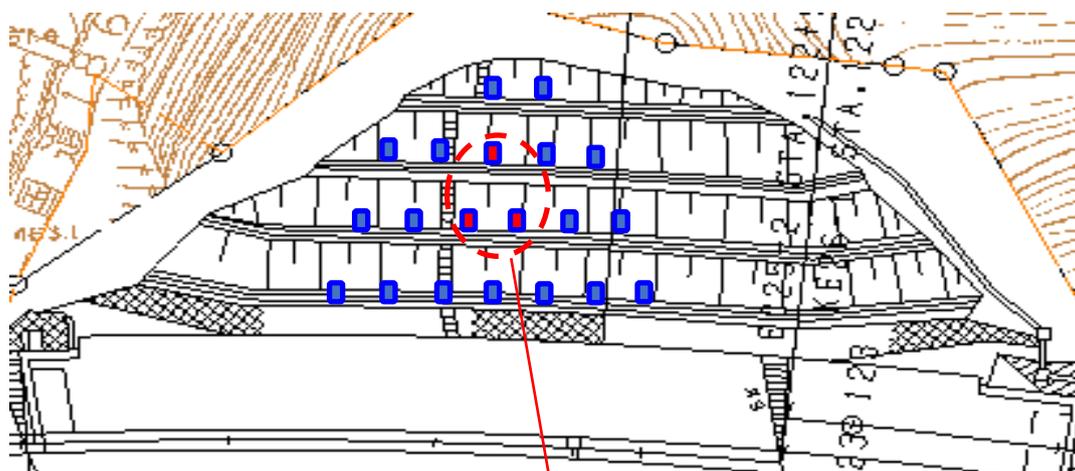
サイズ: L175mm  $\times$  W130mm  $\times$  T45mm

## クリノポール NEO



### ■クリノポール NEO を活用した事前防災に向けた観測イメージ

安定性を監視したい斜面に、多数の「クリノポール NEO」を面的に配置します。周囲と異なる挙動を示す箇所が確認された場合には、該当箇所の詳細調査や追加観測、斜面安定度を高めるための対策検討を迅速に実施することで、崩壊を未然に防ぐ事前防災につなげることができます。



- クリノポール NEO (変動あり)
- クリノポール NEO (変動なし)

周辺と異なる挙動を示す箇所を把握

**【製品に関するお問合せ窓口】**

応用地質株式会社

計測システム事業部 サービス開発部

電話:029-851-5078

E-mail: [seihin@oyo.jp](mailto:seihin@oyo.jp)

**【本件に関するお問合せ先】**

応用地質株式会社 経営企画本部

TEL:03-5577-4501

E-mail: [prosight@oyonet.oyo.co.jp](mailto:prosight@oyonet.oyo.co.jp)